

稲美町デマンド型乗合タクシー「あいのりいなみ」社会実験について

1. 社会実験の概要

- ①期 間 : 令和2年12月1日から令和4年3月31日まで
- ②運行エリア : 町内全域
- ③運行時間 : 平日のみ
 - 1便目 8:30 ~ 10:00
 - 2便目 10:00 ~ 11:30
 - 3便目 12:00 ~ 13:30
 - 4便目 13:30 ~ 15:00
- ④利用方法 : 会員登録制
- ⑤予約方法 : 一週間前から前日の17時までに運行事業者へ電話予約
- ⑥運賃 : 町内一律 400円
以下の人は 200円
 - i) 満65歳以上の人
 - ii) 障害者手帳(身体・療育・精神)を持っている人
 - iii) 要介護・要支援の認定を受けている人
 - iv) 小学生
 - v) 母子健康手帳の交付を受けている妊娠中の人
- ⑦運行車両 : セダン
ジャンボタクシー

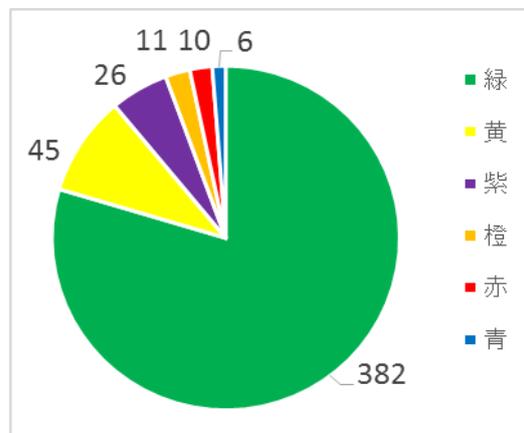
2. 利用登録者状況 (10月末時点)

- ①利用登録者数 : 480人
 - 男性 : 168人
 - 女性 : 312人

②利用者区分別登録者数

利用者区分	人数
小学生	6人 (1%)
65歳以上	407人 (85%)
障がい者手帳所持者	51人 (11%)
要介護・要支援認定者	58人 (12%)
母子手帳所持者	0人 (0%)
上記以外	43人 (9%)

③自宅のエリア別利用者登録数

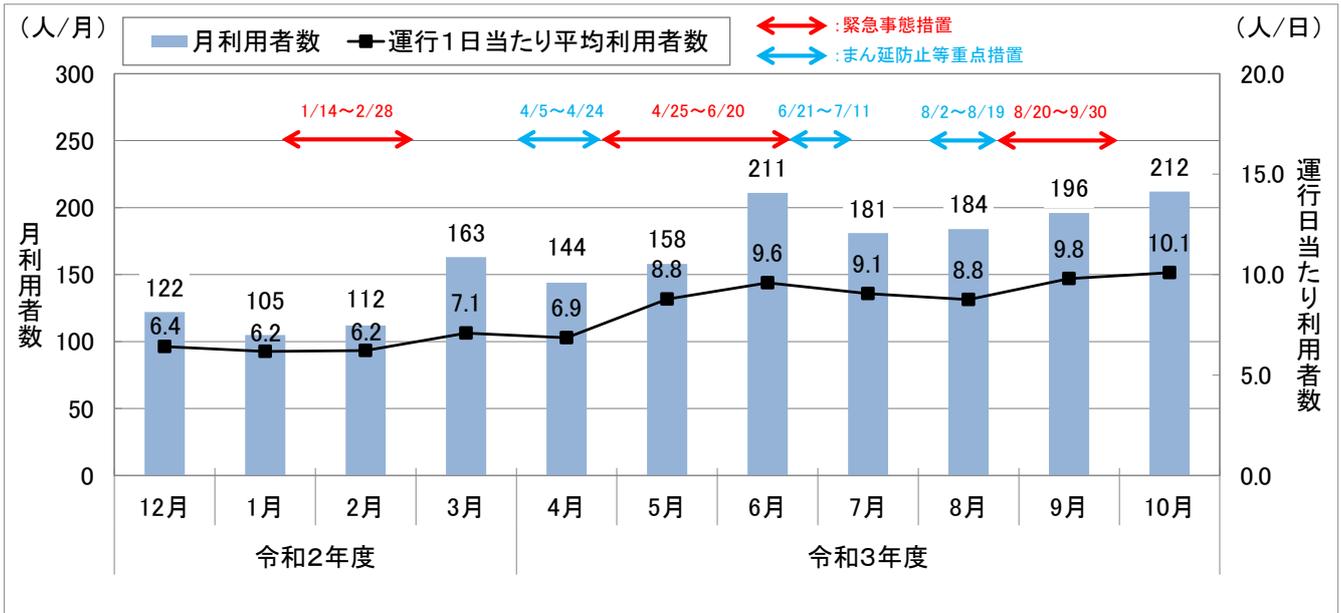


1. あいのりいなみ利用者数

あいのりいなみの利用者数は、社会実験中に緊急事態宣言等が発令されたにも関わらず、12月の運行開始から利用者数が増加しており、特に6月及び10月は200人/月を越える利用者がありました。

現在、コロナ禍ではあるが、外出抑制の緩和等が進めばさらなる利用者の増加が想定できる。

＜ 月別利用者数の推移 ＞

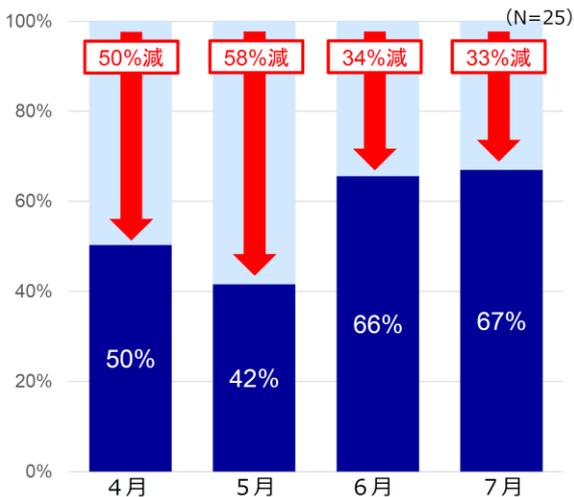


※) 2020年(令和2年)12月～2021年(令和3年)8月のデータを集計
出典) 稲美町所管データ

参考：コロナ禍での公共交通の状況

＜ 一般路線バスにおけるコロナ禍での

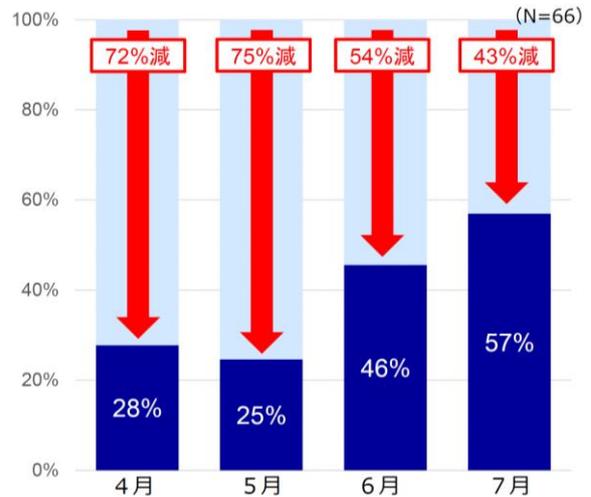
運送収入(対前年同月比) ＞



出典) 国土交通省資料

＜ タクシーにおけるコロナ禍での

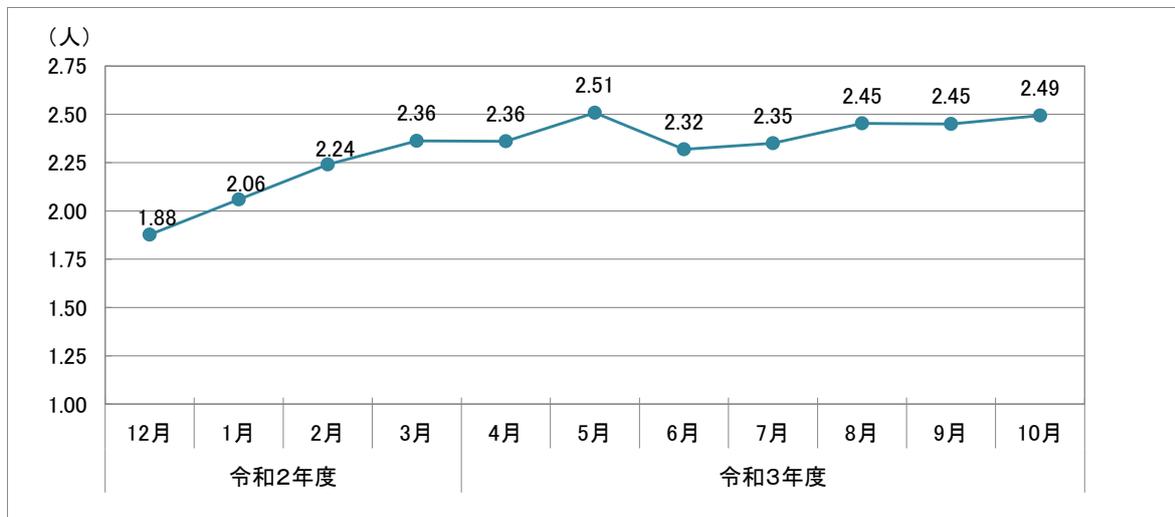
運送収入(対前年同月比) ＞



出典) 国土交通省資料

あいのりいなみの平均乗車人員（乗合率）は、全体で概ね1運行あたり2.3人以上を確保しており、毎月人数が増加している傾向にある。

< 平均乗車人員（乗合率）の推移 >

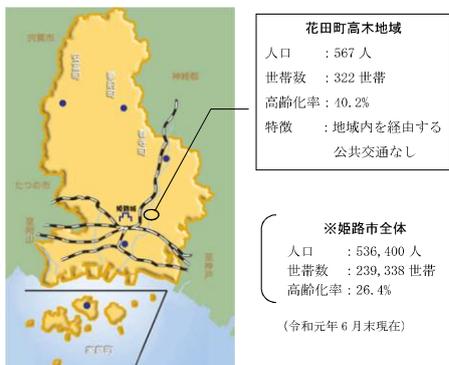


※) 2020年（令和2年）12月～2021年（令和3年）10月のデータを集計
 ※) 平均乗車人員（乗合率）は【乗車人数／運行台数】で算出（運行台数は、例えば1便に2台出動していれば2台として計上）
 出典）稲美町所管データ

参考：本格運行への移行に向けた目標値の設定について

< 花田町高木地域デマンド型乗合タクシー本格運行について >

(1) 地域の概要



(2) 社会実験運行の概要

公共交通空白地域・不便地域の縮減、移動制約者等に対する移動手段の確保、また地域住民の利便性及び福祉の向上のため、花田町高木地域において、デマンド型乗合タクシーの社会実験を実施しました。

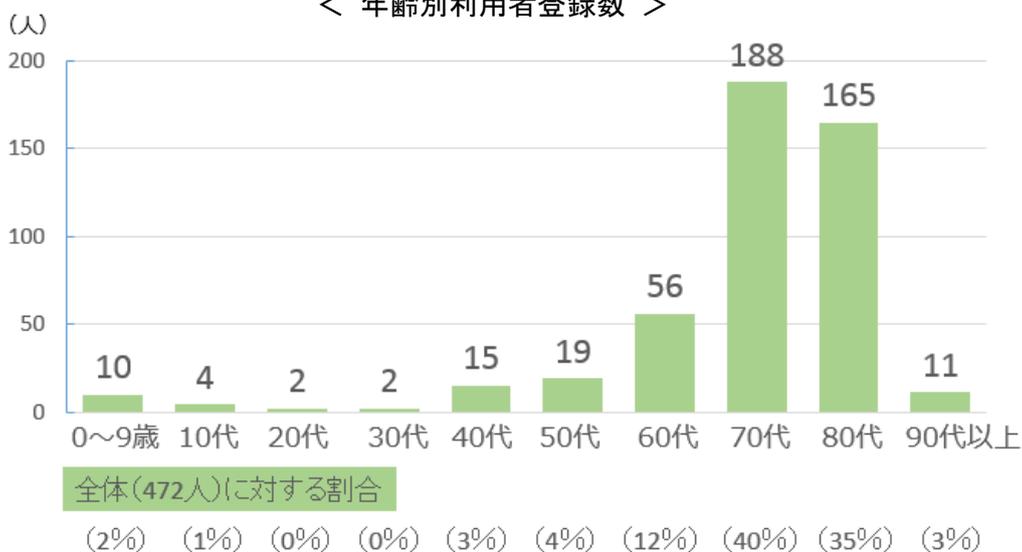
事業手法	道路運送法第21条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業
運行地域	花田町高木地域
運行期間	平成31年1月21日（月）～同年3月29日（金）のうち月曜日、水曜日、金曜日（祝日及び振替休日は除く）
運行事業者	姫路タクシー株式会社 ※公衆により決定
本格運行移行のための目標	① 1運行あたりの平均乗車人員 1.3人以上 ② 利用者負担と公的負担の割合 1:2以内

出典）（陸運）第9回姫路市地域公共交通会議陸運分科会資料

2. あいのりいなみの利用状況

あいのりいなみは主に移動がしづらくなる高齢者によく利用されており、日常生活を営む上で必須となる医療施設や公共施設、商業施設までの移動手段として特に利用されている。また、利用者の多くは生活利便施設が多く立地する「国岡地域」への移動に利用しており、日常生活を営む上で欠かせない交通となっている。

< 年齢別利用者登録数 >



< 目的地（自宅から） >

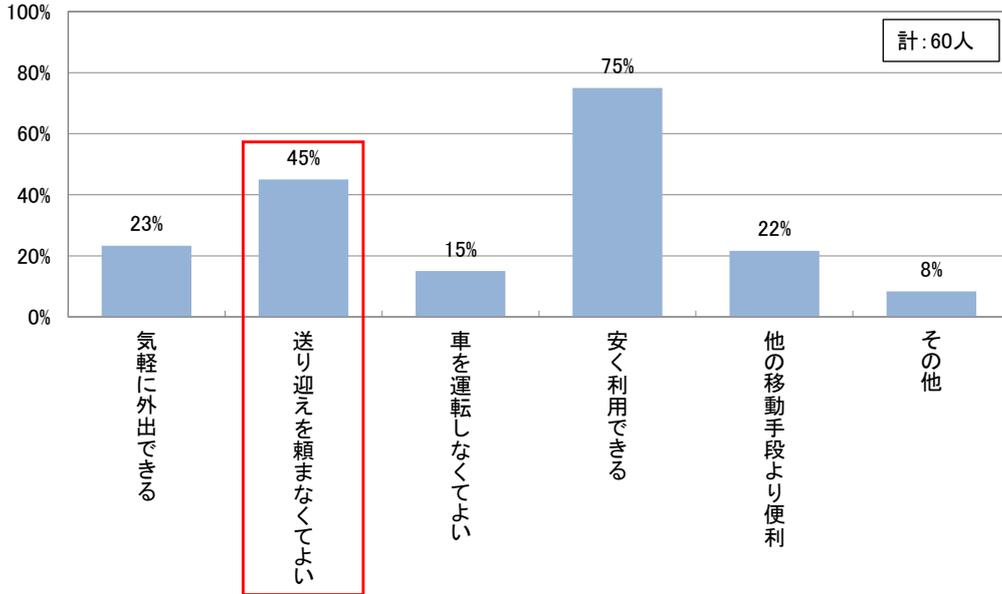
降車場所	利用人数	割合
国岡	605 人	54.1%
国安	157 人	14.0%
中一色	101 人	9.0%
加古	93 人	8.3%
幸竹	57 人	5.1%
野寺	37 人	3.3%
中村	33 人	3.0%
六分一	30 人	2.7%
印南	3 人	0.3%
北山	1 人	0.1%
岡	1 人	0.1%

< 目的施設（自宅から） >

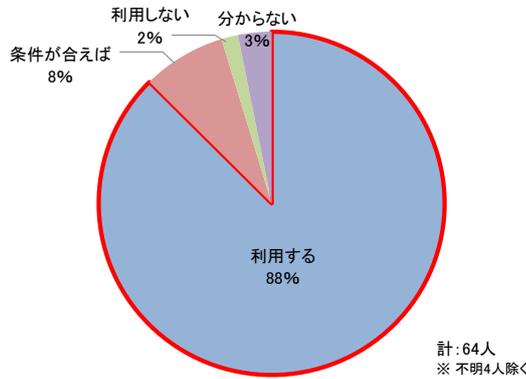
降車場所	降車数	(率)
医療施設	697 回	62.2%
公共施設	193 回	17.2%
商業施設	167 回	14.9%
バス停	40 回	3.6%
金融機関	21 回	1.9%
学校・園	3 回	0.3%

住民アンケート調査結果を見ると、あいのりいなみの運行により、家族などに送迎を頼まなくてよくなった人や外出回数が増加した人もおり、外出機会の創出にも寄与していると思われる。また、あいのりいなみを社会実験終了後も利用したいという意向も多く、満足度は非常に高い。加えて、あいのりいなみに関する感謝の意見もあり、利用者の方に一定の支持を受けている。

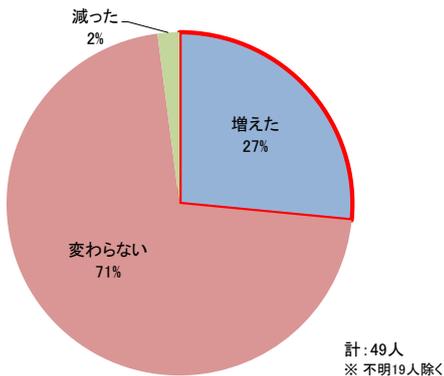
< あいのりいなみを利用して良かった点 >



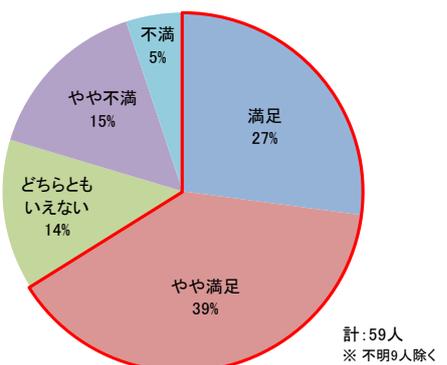
< あいのりいなみの社会実験終了後の利用意向 >



< あいのりいなみ運行による外出回数の変化 >



< あいのりいなみの満足度 >



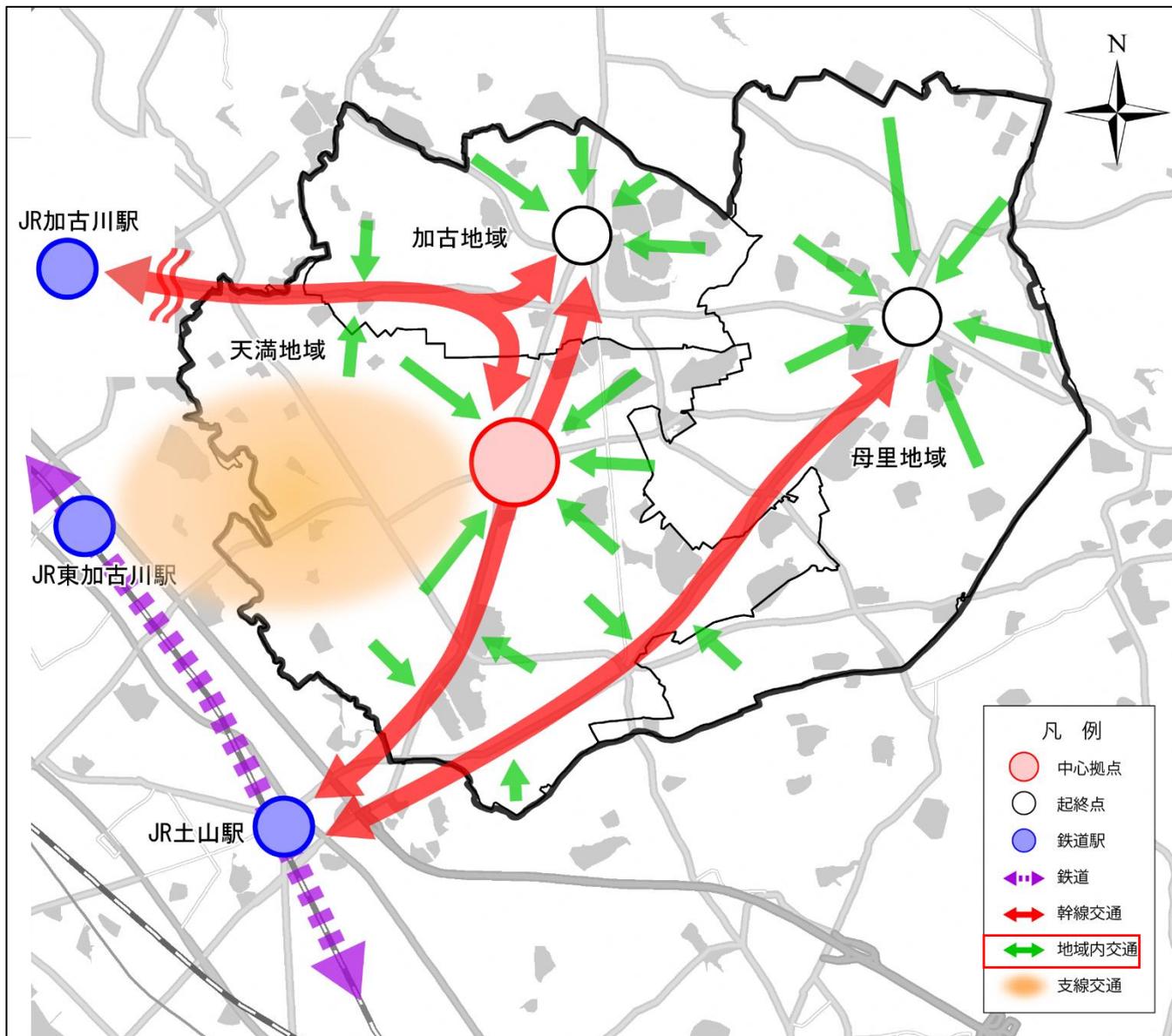
＜ あいのりいなみに関する感謝の意見（一例） ＞

性別	年齢	自由意見
女性	80歳以上	このアンケート調査の中であいのりいなみが令和4年3月31日で社会実験が終了とありましたが、 <u>出来れば今後も続けていただきたいと要望します</u> 。私の場合毎週土曜日魚住まで家の都合で行き来して1日往復580円のバス券を利用させて戴いて、とても助かっていますが又別の場所に月1回 <u>趣味の会に出かけるのであいのりいなみがとても助かっています</u> 。こちらに引越して1年8ヶ月になりますが後期高齢者の多い社会になり色々検討して下さいの地域に住まわせて戴いて感謝しています。ありがとうございます。
女性	80歳以上	あいのりいなみを利用させて頂きまして、とても助かっています。 <u>運転手さんも、とても親切で、有難く思います</u> 。通院時は帰りの予約時間が間に合うかドキドキですが、 <u>社会実験後も利用できます事願っています</u> 。各担当者様有難うございます。
女性	65～69歳	「あいのりいなみ」や「福祉タクシー」を現在は使っていません。しかし、これらの手段があれば、老後が安心です。老後は稲美町から便利な町に引越すことも考えていましたが、とても心強く思っています。風土はとても気に入ってる稲美町ですが、車に乗ることができなくなれば、とても不便で、生活が不安でした。 <u>この制度の継続をお願い致します</u> 。路線バスも、継続して欲しいです。
女性	80歳以上	外食は行かない。コープがあり、個配にしている。 <u>あいのりいなみを利用して嬉しい</u> 。行き帰り乗せてほしい。
女性	70～74歳	今年1月末までパートをしていたのでよく外出していましたが、コロナでそれ以前より外出は減りました。三ノ宮、姫路などホテルで泊まるのが好きでしたが、今はコロナなので控えています。 <u>あいのりいなみは良いです。このまま続けてほしいです</u> 。
男性	70～74歳	<u>あいのりいなみを便利に利用させて頂き、ありがとうございます</u> 。出来れば、最寄駅やいなみ野学園等利用できれば大変助かるのですが。
女性	80歳以上	<u>足の悪い年寄りにとってあいのりいなみはとても有難い存在です。ぜひ続けてほしい</u> 。

3. 地域公共交通計画での位置付け

あいのりいなみは、現在検討中の「地域公共交通計画」にも「地域内交通」という位置付けで、路線バス軸（幹線道路）の枝線（フィーダー交通）としての大きな役割を持っている。

< 本町が目指す公共交通体系 >



4. 他市町の事例

加古川市では、令和3年1月から乗合デマンドタクシー「チョイソコかこがわ」を実証実験により運行していた。コロナ禍による緊急事態宣言の影響を受けたものの、その後は利用者数及び平均乗車人員（乗合率）は向上し続けている。最終的には8ヶ月半の実証実験を経て令和3年10月から本格運行に移行した。

< 実証実験内容 >

(1) 実証実験期間

令和3年1月13日（水）～令和3年9月30日（木）

(2) 実証実験の概要

■運行エリア 八幡小学校区域及び隣接する公共施設、病院、スーパー等

■運行時間 平日のみ8時～16時

■利用方法 会員登録制（八幡小学校区域の住民）

■予約方法 オペレーターによる電話受付（平日9時～17時）

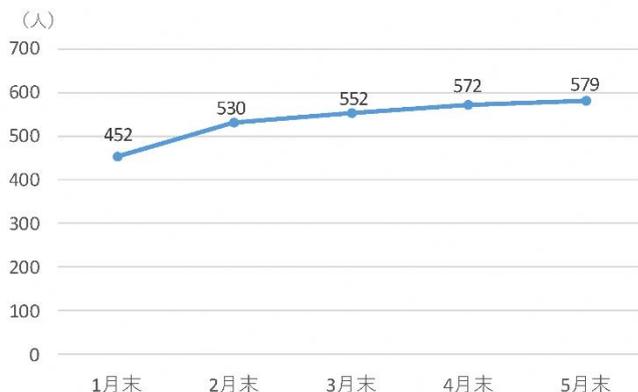
※1時間前まで予約可。なお、朝10時までの出発は前日（月曜日の予約は金曜日）までに予約が必要。

■運賃 無償

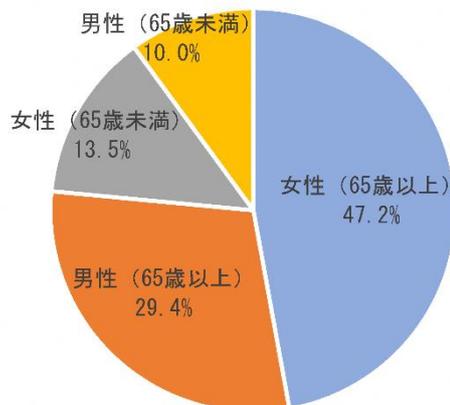
■運行車両 ワゴン車（白ナンバー）



< 会員登録者の推移 >



< 会員登録者の内訳 >

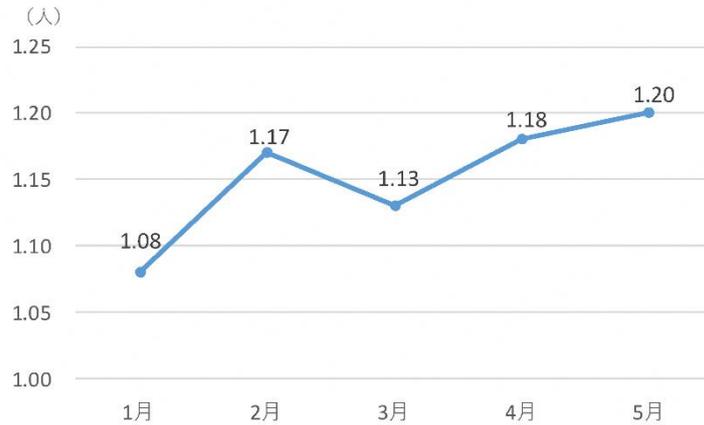


< 乗車人数（令和3年1月～5月） >

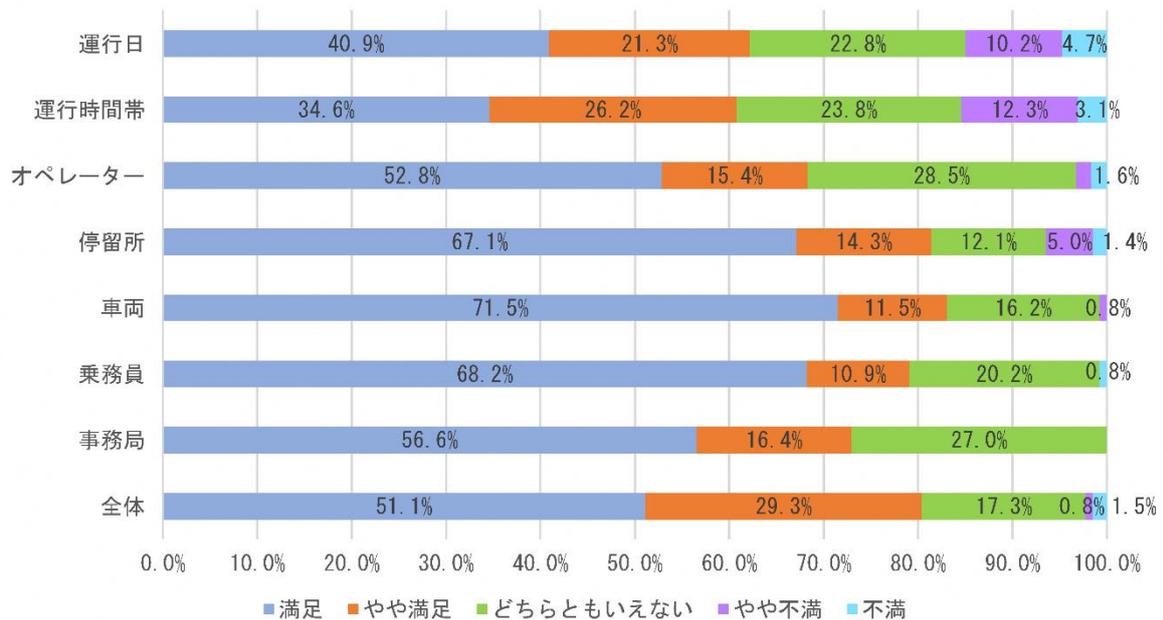
	1月	2月	3月	4月	5月	合計
乗車人数	110	183	273	236	188	990
平均乗車人数/日	8.5	10.2	11.9	11.2	10.4	10.6

※緊急事態宣言 2回目 1/13～2/28 3回目 4/25～継続中

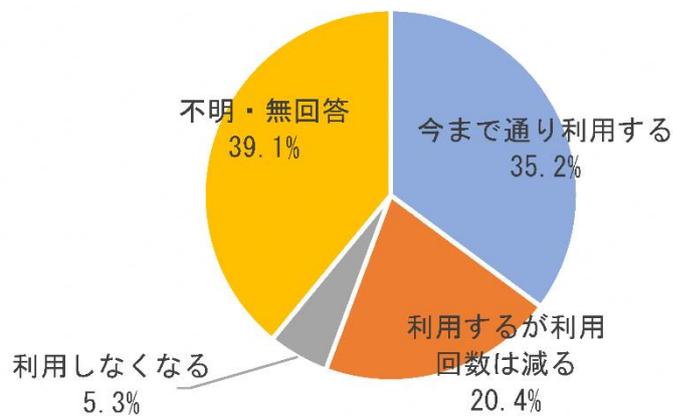
< 平均乗車人員（乗合率）の推移 >



< 満足度 >



< 有償運行時の利用意向 >



出典) 令和3年度第1回加古川市地域公共交通会議資料



令和3年10月から本格運行に移行

福崎町では、令和元年10月から福崎町・姫路市の連携コミバスである「ふくひめ号」を社会実験により運行していた。この社会実験はコロナ禍の影響を大きく受けたこともあり、日当たり利用者数の目標値を下回った状態であったにもかかわらず、住民や企業等の強い要望を受けて、1年半の社会実験を経て令和3年4月から本格運行に移行した。

< 「ふくひめ号」の運行内容（社会実験時） >

1. 令和2年度 実績報告について

○現行実施体系

事業名	福崎町・姫路市連携コミュニティバス(ふくひめ号)運行社会実験
実施者	福崎町
連携団体	姫路市、福崎工業団地協議会、溝口ニュータウン自治会、神崎郡自立支援協議会
運行事業者	神崎交通株式会社(一般乗合旅客自動車運送事業の許可を有するも交通事業者)
事業手法	定時定路線型乗合バス(道路運送法第4条による許可)
運行地区	福崎町福田、馬田、西治、高橋、南田原、西田原及び姫路市香寺町中寺地区・船津地区の一部
社会実験期間	令和元年10月1日～令和3年3月31日
使用車両	14人乗り(座席13) ワンボックスタイプ(紺色) バリアフリー対応(車椅子不可)
運行便数	11便/日
コース・ダイヤ	後述のとおり
運行日	月曜日～土曜日(運休日:日曜日、祝日、秋祭り実施日、12/31～1/3)、
財源	トヨタ・モビリティ基金の助成金を活用

< 「ふくひめ号」の月別・日当たり利用者数 >

○利用者数（月別）

ふくひめ号運行実績報告（2019年10月～2020年12月）

※ 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令期間：2020年4月7日（火）～2020年5月20日（水）

< 月別利用者数及び運行日当たり利用者数（全日） >



※ 2020年4月より運行再編

【令和元年度】
 運行日数 144日
 利用者数 4,591人
 日平均 約32人

【令和2年度】
 運行日数 223日
 利用者数 8,664人
 日平均 約39人

【合計】
 運行日数 367日
 利用者数 13,255人
 日平均 約36人

出典) 令和2年度第3回福崎町地域公共交通活性化協議会資料



令和3年4月から本格運行に移行

道路運送法第9条第4項、及び同法施行規則第9条
第2項に掲げる協議が調っていることの証明書 (案)

令和3年11月12日開催の稲美町地域公共交通活性化協議会において、下記事項に関し、協議が調ったことを証明する。

1 協議が調っている路線又は営業区域

稲美町全域

(ただし、バス停から半径300mは路線バスを利用可能なエリアとし、そのバス停と同一沿線上のバス停の半径300m以内では降車できないものとする。)

2 協議が調っている運行系統又は運送の区間

区域運行(発地及び着地のいずれもが上記営業区域内であること。)

3 協議が調っている運賃(料金)の種類、額及び適用方法

1乗車あたりの運賃は下記のとおりとする。

分類	金額
一般	400円
小学生 満65歳以上の人 障害者手帳(身体・療育・精神)を持っている人 要介護・要支援の認定を受けている人 母子健康手帳の交付を受けている妊娠中の人 <u>介添人(第1種身体障がい者、療育手帳A判定、精神障がい者 保健福祉手帳1級の利用者1人につき同乗する介添人1人)</u>	200円
未就学児	無料

4 適用する期間又は区間その他の条件を付す場合には、その条件

適用期間	<u>令和4年4月1日から</u>
運行日	土日祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く平日のみ運行
運行時間	午前8時30分から午後3時まで
予約方法	<u>利用者からの電話予約(1週間前から当日の90分前まで受付)</u>
運行便数	<u>1日6便</u> <u>1便目 8:30～9:30</u> <u>2便目 9:30～10:30</u> <u>3便目 10:30～11:30</u> <u>4便目 12:00～13:00</u> <u>5便目 13:00～14:00</u> <u>6便目 14:00～15:00</u>

使用車両	受託者が所有する乗客4名定員の普通乗用車（セダン型車両）及び乗客8名定員のジャンボタクシーで一般乗用旅客自動車運送事業と併用して使用する車両
車両台数	2台を原則とし最大5台
運行主体	ルミナスタクシー株式会社

令和3年11月12日
稲美町地域公共交通活性化協議会
会長 田 河 博

【緑色エリアの定義】
 自宅が稲美町内で、各バス停から300m以上離れている人

施設の種類	目的地
公共施設	稲美町役場
	いなみ文化の森
	いなみ野体育センター
	いなみアクアプラザ
	郷土資料館・公園管理事務所
	総合福祉会館
	加古福祉会館
	障害者ふれあいセンター
	社会福祉協議会
	母里福祉会館
	農村環境改善センター
	いなみっこ広場
	西部隣保館
	東部隣保館
	稲美町商工会
	稲美斎場ひじり苑
加古郡広域シルバー人材センター	
バス停	自宅最寄のバス停・母里・上新田北口
学校・園	稲美中学校
	稲美北中学校
	加古小学校
	母里小学校
	天満小学校
	天満南小学校
	天満東小学校
	加古幼稚園
	母里幼稚園
	天満幼稚園
	天満南幼稚園
	天満東幼稚園
	加古保育園
	母里保育園
	ハンビ第一保育園
	ハンビ第二保育園
	いなみ虹保育園
	東播磨高等学校
いなみ野特別支援学校	
金融機関	JA兵庫南加古支店
	JA兵庫南母里支店
	JA兵庫南天満支店
	稲美郵便局
	母里郵便局
	天満郵便局
	みなと銀行稲美支店
	但陽信用金庫稲美支店
	播州信用金庫稲美支店
	兵庫県信用組合稲美支店

施設の種類	目的地	
商業施設	アルカドラッグ稲美店	
	キリン堂稲美店	
	コープ稲美	
	ジャパン明石稲美店	
	ジュンテンドー稲美店	
	DCMダイキ 稲美店	
	にじいろふぁ～みん	
	ふぁ～みんSHOPいなみ	
	フーディーズいなみ	
	フレッシュ石守稲美店	
	マックスバリュ稲美店	
	マルアイ稲美店	
	医療施設	荒木皮フ科
		上垣内科クリニック
		大西メディカルクリニック
		大村耳鼻咽喉科医院
桂内科医院		
かわぐち腎泌尿器科・内科クリニック		
コスモクリニック		
後藤医院		
しらい皮フ科クリニック		
私立稲美中央病院		
友永クリニック		
沼田クリニック		
播磨サナトリウム		
ふじたこどもクリニック		
別府眼科クリニック		
三木内科クリニック		
宮本医院		
桃田小児科医院		
山口医院		
小田歯科医院		
かわもり歯科医院		
喜多歯科医院		
黒石歯科医院		
笹倉歯科医院		
辰巳歯科医院		
坂東歯科医院		
ばんどう歯科クリニック		
ふじた矯正歯科		
宮本歯科医院		
公園	稲美中央公園 加古大池管理棟 天満大池公園	